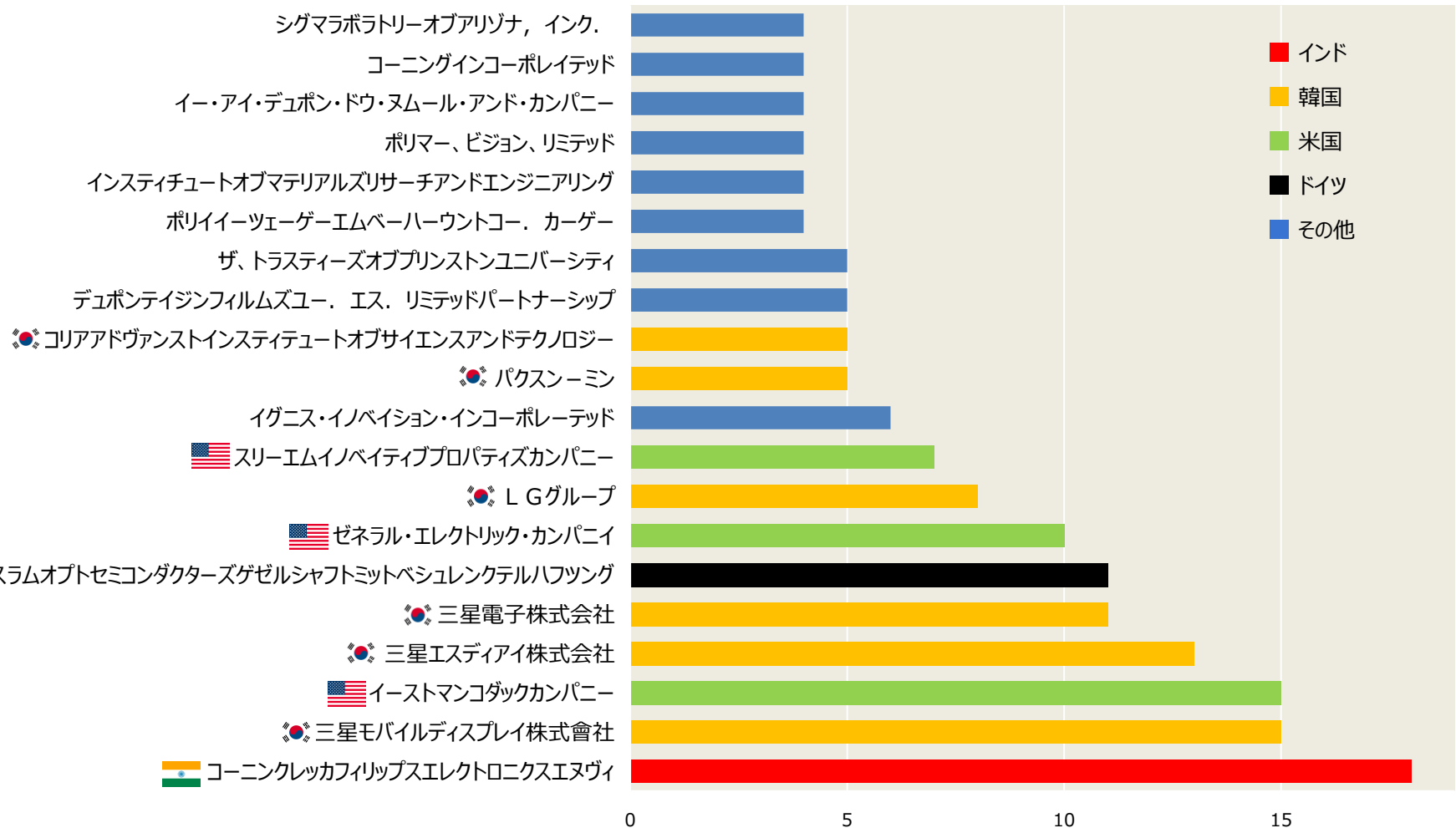


1-1 フレキシブル有機ELの外国籍企業の出願分析

【図表】海外国籍出願人ランキング



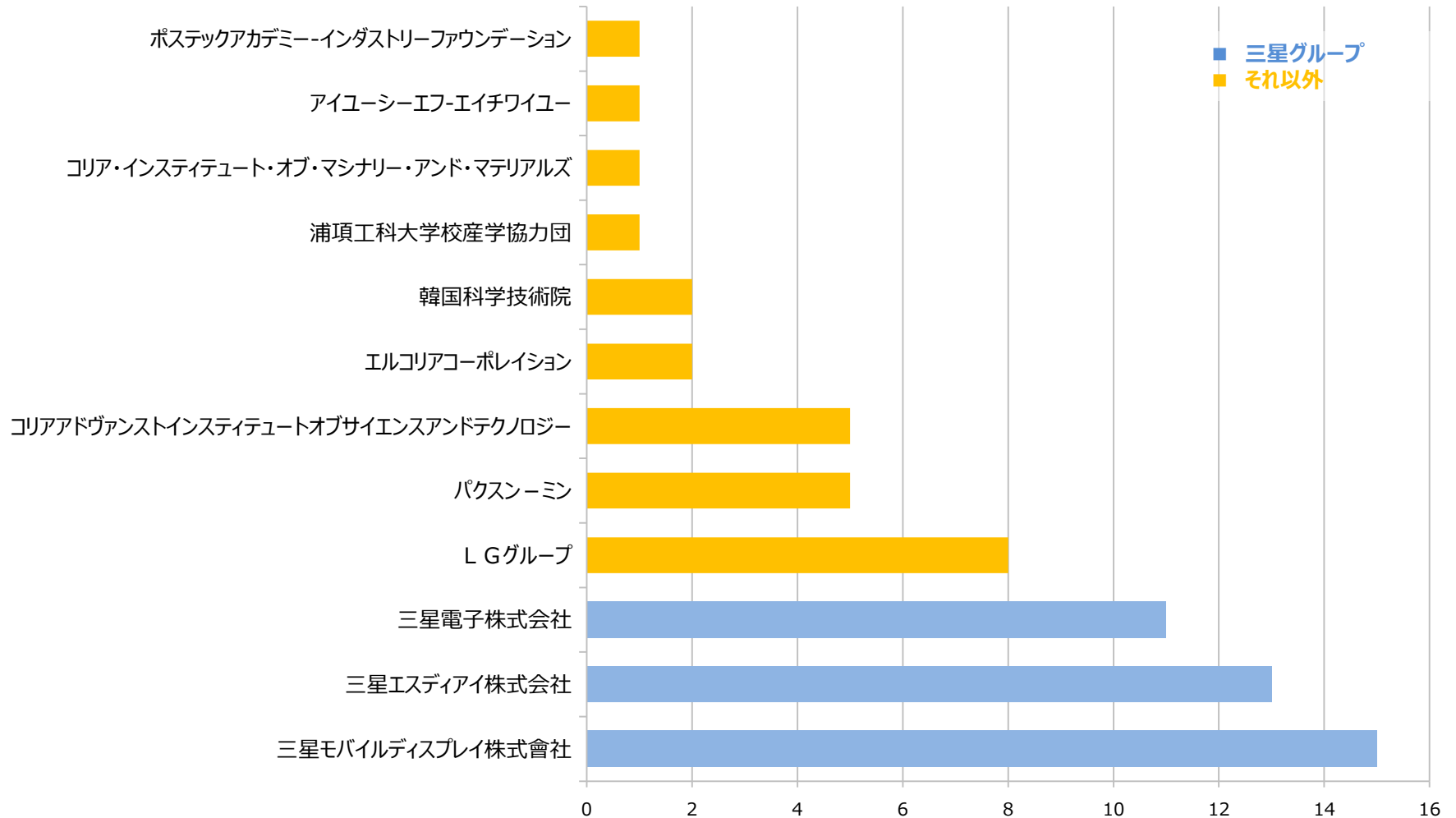
1-1-1

概観

外国籍企業の日本出願は、三星、L G関連企業からの出願が多く、次に米国のE K、G E等が追っている。インドのコーニングレックファリップスエレクトロニクスが最多出願数を占めており、注目される。

2-1 炭素材料（グラフェン）の国際出願動向分析

【図表】韓国出願人の日本特許出願ランキング



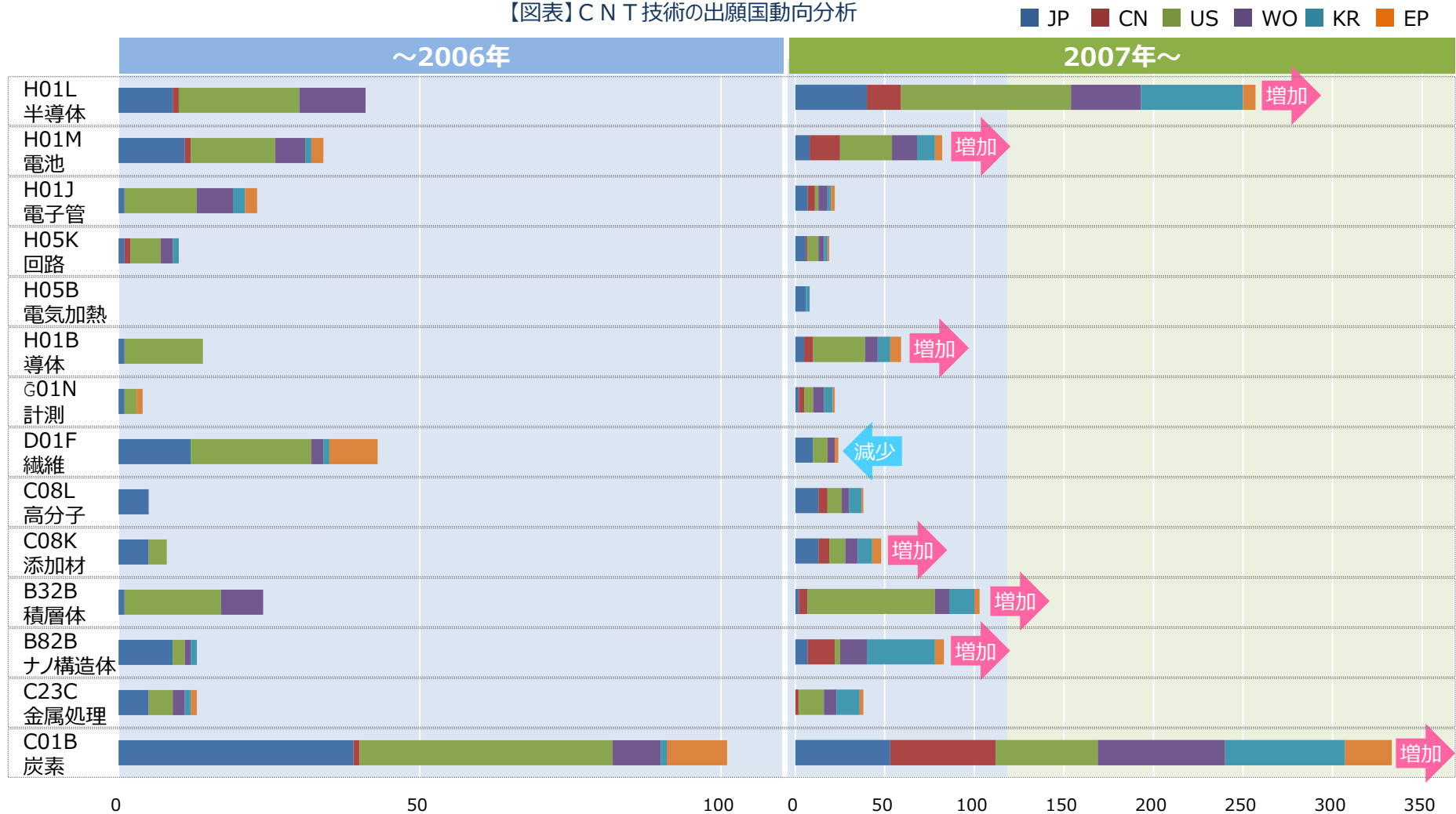
2-1-1

概観

炭素材料（グラフェン）に関する韓国企業の出願のみを取り出してグラフ化したものである。韓国が当該技術に関して、日本に対抗しての実用化検討を進めているかが伺われる。フレキシブルという特徴を生かした自動車での表示や照明に注力していることが伺われる。

3-1 国際出願の出願国籍の技術別出願動向分析

【図表】CNT技術の出願国動向分析



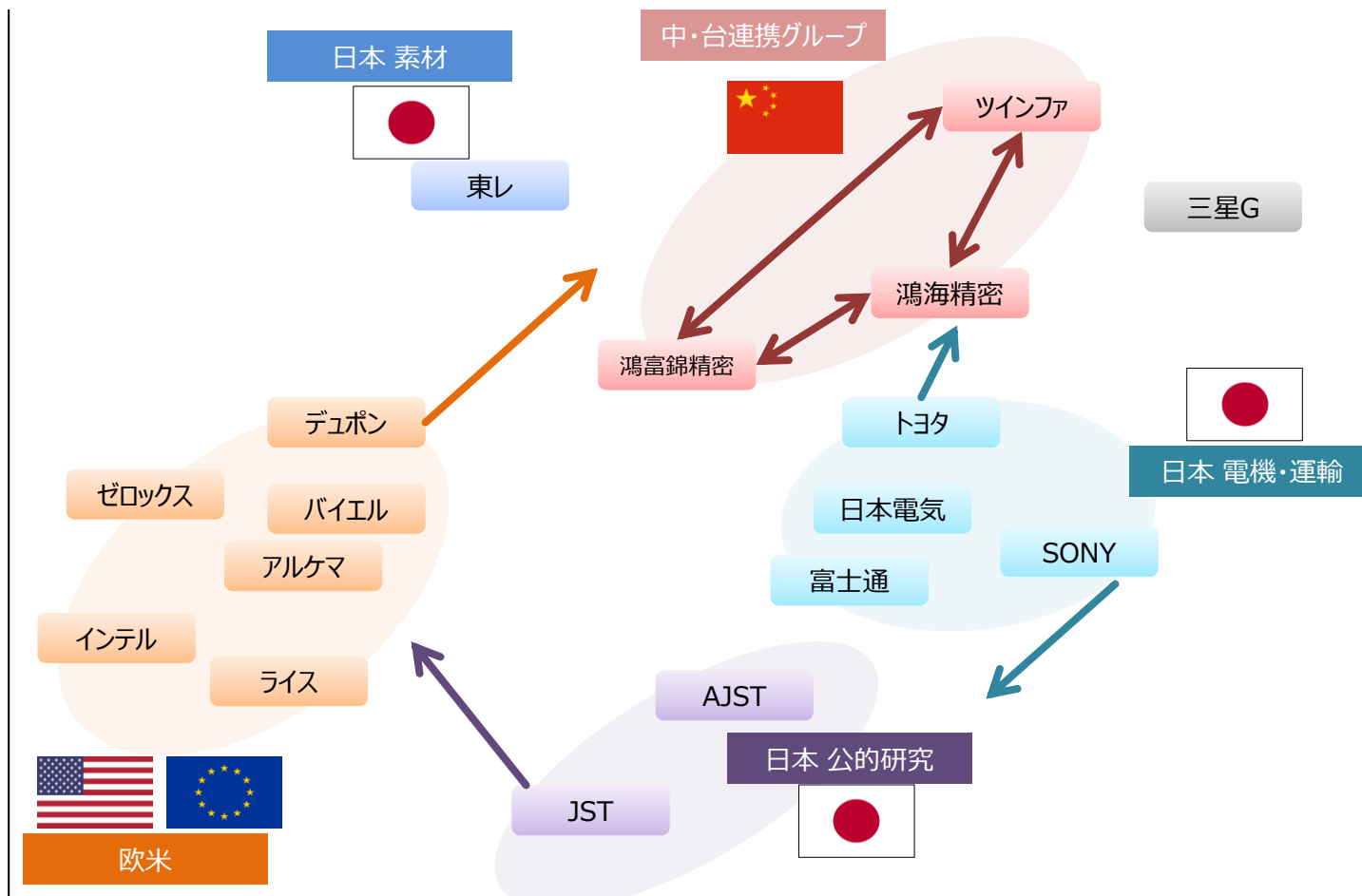
3-1-1

概観

炭素材料や半導体への出願が増大しており、炭素材料の透明導電性特性や半導体特性に着目している模様である。全体的に2007年を境に出願が増大する中、繊維への適用に関しては関心が低下している。C 0 1 B（炭素材料）に関して日本国出願の割合が大きく低下し、中国出願が増加しており、ビジネス競争関係の国際化が進んでいる

4-1 CNT分野の国際競争構造分析

【図表】CNT分野の国際的な競争構造の分析



4-1-1

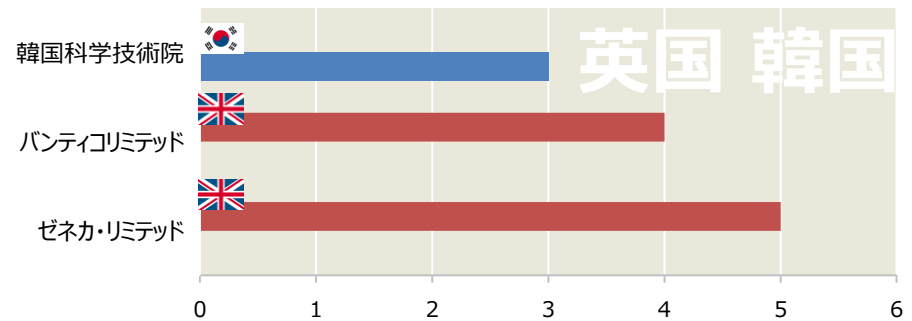
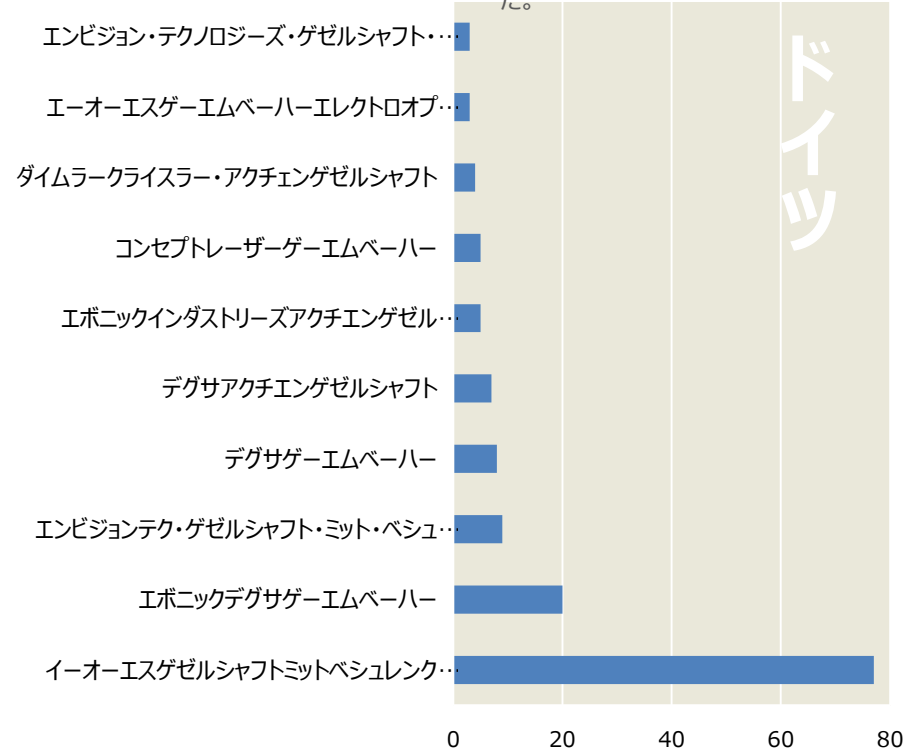
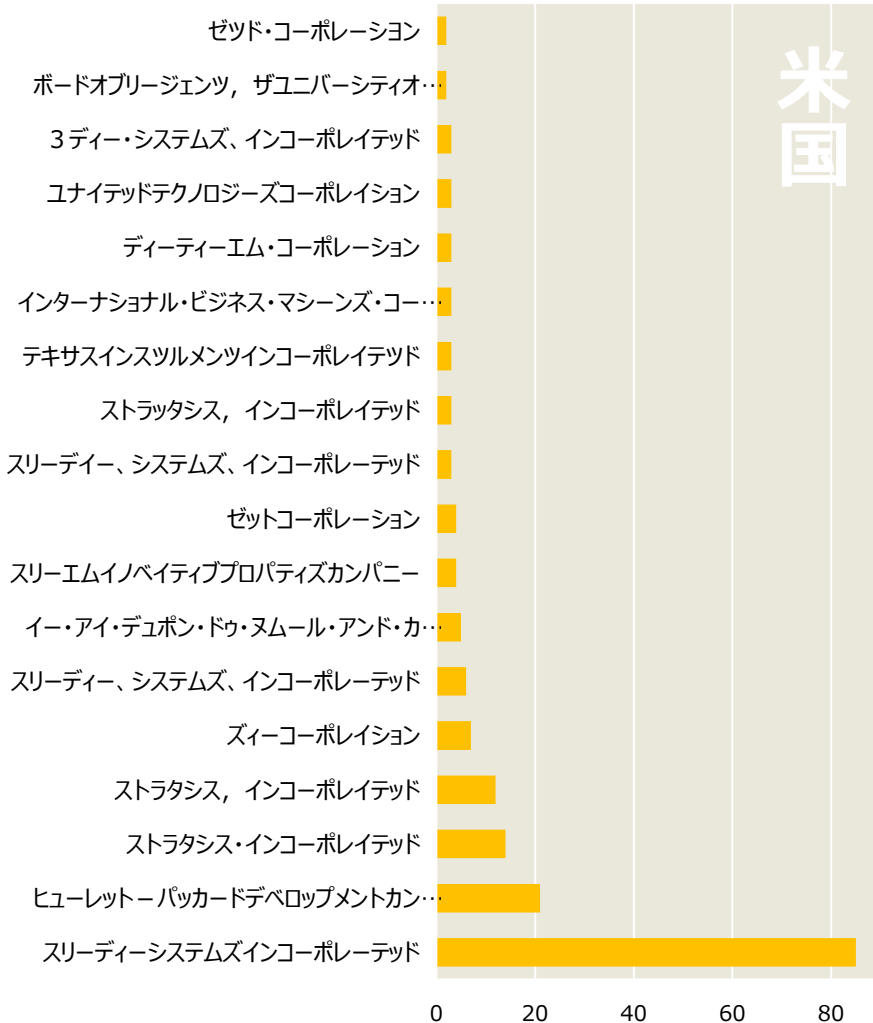
概観

国内特許分野では、個別企業では中台連携グループと三星グループとで均衡状態となっているが、海外勢の特許出願の急激な増大傾向から、国内市場でも市場化に向けての特許戦略の検討が必要となる。東南アジアでの特許強化と国際連携での技術普及の戦略も必要となる。国際市場に向けた業種間連携やCNT応用領域の分担とともに、競争者を意識した知財の調査戦略が重要となる。

5-1 技術国際展開分析

【図表】3Dプリンター*の外国籍企業分析

*Fターム 4F213WLを分析対象とした。



2-1-1

概観

3Dプリンターの海外企業は、ドイツと米企業国が中心となっており、米国のスリーディーとドイツのイーオーエスが最も日本市場に関心を持っている。